

多職種ハートチームによる質の高いサポートを開始！！

県南地域初の心臓リハビリテーションが開設



運動療法の様子



管理栄養士が規則正しい食事の説明をしています

心臓に興味を持ったのは入局の際に受けた健康診断がきっかけでした。心電図で「異常Q波」要精密検査の結果を受け、今まで何も感じたことがなかった心臓がなぜか、なんとなく苦しい感じがしたのです。それからちょうど10年後、胆沢病院の心臓リハビリテーション（以下；心リハ）開設に携われる幸運に恵まれました。

今年度、心大血管疾患リハビリテーション（Ⅰ）の施設基準を取得し、7月14日からは心リハ外来も開始しています。当施設の特徴は、**県南地域で初の心リハ施設**であること、**医師、看護師、理学療法士、管理栄養士、薬剤師、事務職員**などから構成された**ハートチームによる患者指導**を行なっていることです。これまでの施設はいずれも盛岡周辺に集中していたため、希望されても断念しなければならないことがしばしばありましたが、今後は解消されるのが期待されます。また、心リハは急性期だけでは効果が弱く、回復期まで継続することのできる外来を開設できたことの意義は大きく、質の高いサポートを提供できると確信しています。

最後にハートチームの思いは「心臓治療の主役は患者さんであり、私たちは全力でサポートします。チームメンバー一人一人ができることは小さいですが、それぞれが役割を果たすことでパズルの

ピースがはまるように治療が進んで欲しい」ということです。このことが実現できるよう、研鑽して参りたいと思います。

ハートチーム 主任理学療法士 高橋 清勝

岩手県立胆沢病院の基本理念

<基本理念>

私たちは、地域の人々の健康と命を守るため、愛を持って地域医療に貢献します。

<行動指針>

- 1) 患者さんと家族、私たちとの協働医療（専門性を結集した多職種による、患者参加型のチーム医療）
- 2) 患者さんの背景・価値観に配慮した医療
- 3) 患者さんが安心できる、良質で安全な医療
- 4) 地域の医療・福祉・行政との連携と機能分担
- 5) 次の世代を担う優れた医療人の育成

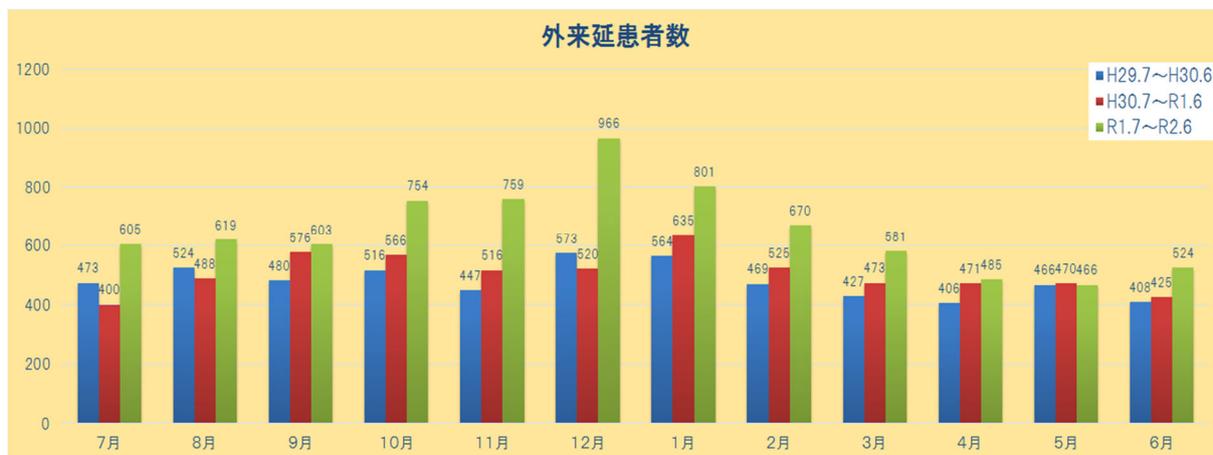
<病院運営方針>

- 1) 救急医療を含む急性期医療
胆江保健医療圏の基幹病院として、24時間対応の救急医療など、圏域の急性期医療、高度・専門医療を担います。
- 2) がん医療
地域がん診療連携拠点病院として、手術・化学療法・放射線治療・緩和ケアなど専門的ながん医療の提供や、がん患者に対する相談支援・情報提供を行います。
- 3) 地域医療支援
地域医療支援病院として、紹介・逆紹介の推進、地域医療機関との共同診療、地域の医療従事者・地域住民に対する研修・教育を行います。
- 4) 災害医療
地域災害拠点病院として、災害時の傷病者の受け入れや地域医療機関への支援、DMATチームの派遣を行います。
- 5) 臨床研修、スタッフ教育
臨床研修指定病院・各種学会認定研修施設として、次の世代を担う医療従事者を育成するとともに、病院スタッフの研鑽に努めます。
上記5項目の実践・充実のため、誇りを持てる職場づくりと健全な病院運営に努めます。

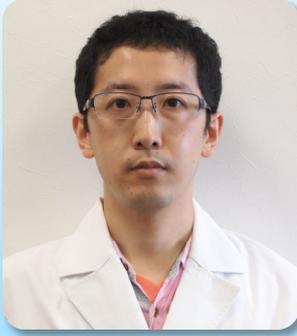
胆沢病院小児科 直近1年間の実績紹介

当院小児科の直近1年間の実績をご紹介します。6月までの患者数は入院延患者数2,170名、月平均で181名となっており、前年と比較して延患者数1,767名増加、月平均でも5倍以上と大きく増加しています。外来患者数についても前年比1,768名の増加、月平均でも159名の増加となっています。時間外の救急患者の状況については6月までの1年間で1,669名となっており、このうち、救急からの入院が6月までで193名と増加しており前年比で153名増えております。

これは、時間内時間外を問わず多くの患者さんを受け入れ、小児医療に尽力されている姿勢を、地域の患者さんや開業医の先生方から評価いただいたことの現れではないかと受け止めております。今後も、地域の先生方との連携を深め、患者さんとのより良い信頼関係が築かれていくものと思います。どうぞよろしくお願い致します。



新任医師の紹介



おしお ひろき

小塩 弘樹 呼吸器外科医長 令和2年7月1日付

専門分野 呼吸器外科一般

趣味 山登り

ひとこと まだまだ未熟者ですが、皆様のお役に立てるよう精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

摂食嚥下障害看護認定看護師の紹介

2019年7月に「摂食嚥下障害看護認定看護師」の資格を取得いたしました。

摂食嚥下障害看護認定看護師は、食べることや飲み込むことができなくなってしまった患者さんの食べる力を引き出すことを目指し、安全に配慮しながら、患者さんに合った食事内容の選択や姿勢の調整、嚙む・飲み込むための訓練、口腔ケアを実践していく役割を担っています。

現在は病棟に所属しながら、栄養サポートチーム（NST）の一員として、医師や栄養士、言語聴覚士など多職種と連携しながら、栄養状態のアセスメント、嚥下機能評価を行い、必要なサポートが受けられるように調整しております。口腔ケアや嚥下訓練を継続的に実践し患者さんの生活に定着できるような支援



摂食嚥下障害看護認定看護師
すがわら まきこ
菅原 真貴子

や、安全に食べ始め、食べ続けるために必要な食事介助方法の技術向上にも取り組んでおります。

患者さんの「食べる」機能や意欲、その方を取り巻く環境に応じて、必要な支援は変化していきます。患者さんやご家族、院内外の医療スタッフとともに、少しでも食べる喜びや楽しみにつなげるためのケアが提供できるように努力していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

地域医療福祉連携室 NEWフェイス紹介



うめはら ゆかり
梅原 祐香里
主任医療社会事業士

一戸病院より異動してまいりました。患者さん・家族と病院、地域と病院の橋渡しができるよう努めて参ります。モットーは“笑顔を忘れず”でがんばっていきたいと思います。よろしくお願いいたします。



すがわら あやか
菅原 彩夏
医療社会事業士

4月から釜石病院よりまいりました。患者さん・ご家族をはじめ、院内外の様々な方とのコミュニケーションを大切にし、安心できる療養生活サポート、退院に向けた支援をさせていただければと思います。よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症対策について



来院時のマスク着用のお願い



玄関ホール入口付近にて、来院者全員に検温とマスクの着用をお願いしています。

胆沢病院では患者さんはもちろんのこと、付き添いの方、売店のみご利用の方なども含め病院建物に入る方全員に検温とマスクの着用をお願いしています。

当院では5月18日から玄関ホール入口付近でサーモカメラによる検温を実施（夜間・休日は受付カウンターで検温を実施）しています。37.5度以上の熱がある方は問診と再検温を受けていただいております。

新型コロナウイルス感染拡大防止については、人の往来制限がなくなり以前の生活に戻りつつありましたが、東京など都市部を中心に感染拡大が続き、7月下旬に県内で初めての感染者が確認されました。誰でも

も感染する可能性があり、病院に来られる方の中には免疫力が弱くなっている方もいらっしゃると思いますので、引き続き検温とマスクの着用について、ご協力をお願いしています。

患者さんを感染症から守るため、患者さんを紹介される際には、『患者さん及びご家族やお付き添いの方は必ずマスクを着用』して来院するようお願いいたします。

患者さん、ご家族、お付き添いの方にもマスク着用をお願いしています



お盆期間中の診療体制について

下記の期間、外来診療（全科）を休診し、当直医師による救急診療体制となります

8月13日（木）、8月14日（金）

※ 救急のご紹介の際は、中央処置室にご連絡をお願いします

医師退職のお知らせ

令和2年6月30日付

鈴木 寛利 呼吸器外科医長



岩手県立胆沢病院 地域医療福祉連携室

〒023-0864

岩手県奥州市水沢字龍ヶ馬場61番地

TEL 0197-24-4121

FAX 0197-24-4180（紹介センター専用）

URL <http://www.isawa-hp.com/>